

# 泌尿器科学

## 1 構 成 員

	平成 25 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	2 人	(2 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	3 人	(1 人)
診療助教	1 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	1 人	
医員	1 人	
研修医	0 人	
特任研究員	1 人	
大学院学生（うち他講座から）	2 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	5 人	
合計	17 人	

## 2 教員の異動状況

- 大園誠一郎（教授）（H15. 4. 16～現職）
- 古瀬 洋（講師）（H14. 7. 1～助手、H19. 4. 1～助教、H22. 1. 1～現職）
- 石井 保夫（特任講師）（H23. 4. 1～現職）
- 高山 達也（講師）（H12. 7. 1～助手、H19. 4. 1～助教、H22. 5. 1～現職）
- 大塚 篤史（助教）（H15. 7. 1～助手、H19. 4. 1～現職）
- 永田 仁夫（助教）（H18. 4. 1～助手、H19. 4. 1～現職）
- 杉山 貴之（助教）（H21. 3. 16～医員、H21. 8. 16～診療助教、H23. 4. 1～現職）
- 甲斐 文丈（診療助教）（H23. 2. 1～医員、H23. 6. 1～現職）

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 24 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	10 編	( 2 編)
そのインパクトファクターの合計	24.08	
(2) 論文形式のプロシーディングズ	13 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(3) 総説数 (うち邦文のもの)	15 編	(15 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数 (うち邦文のもの)	5 編	(5 編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	9 編	(7 編)
そのインパクトファクターの合計	0.35	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Ozono S\*, Ueda T, Hoshi S, Yamaguchi A, Maeda H, Fukuyama Y, Takeda K, Ohashi Y, Tsukamoto T, Naito S, Akaza H. : The efficacy and safety of degarelix, a GnRH antagonist : A 12-month, multicentre, randomized, maintenance dose-finding phase II study in Japanese patients with prostate cancer. Jpn J Clin Oncol 42 : 477-484, 2012.

インパクトファクターの小計 [ 1.856 ]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 伊藤寿樹\*, 栗田 豊, 永田仁夫, 高山達也, 古瀬 洋, 麦谷荘一, 大園誠一郎, 牛山知己, 鶴 信雄, 鈴木和雄 : 褐色細胞腫に対する腹腔鏡下副腎摘除術に対する副腎摘除術の術式の選択に関する検討-腹腔鏡下手術と開放手術との比較から-. Jpn J Endourol ESWL 25:123-127, 2012.
2. Frazier DP, Kendig RD, Kai F, Maglic D, Sugiyama T, Morgan RL, Fry EA, Lagedrost SJ, Sui G, Inoue K\*. : Dmp1 physically interacts with p53 and positively regulates p53's stability, nuclear localization, and function. Cancer Res 72:1740-50, 2012.
3. Hamada S, Hinotsu S, Hori K, Furuse H, Oikawa T, Kawakami J, Ozono S, Akaza H, Kawakami K\*. : The cost of antiemetic therapy for chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients receiving platinum-containing regimens in daily practice in Japan: a retrospective study. Support Care Cancer 20:813-820, 2012.
4. 伊藤寿樹, 栗田 豊, 新保 斉, 永田仁夫, 高山達也, 古瀬 洋, 麦谷荘一, 大園誠一郎, 牛山知己, 鶴 信雄, 鈴木和雄 : 褐色細胞腫に対する腹腔鏡下手術の臨床的検討-手術時間と術中高血圧に影響する術前の臨床パラメーターの解析-. 日泌尿会誌 103:655-658, 2012.
5. Hirano K, Naito T, Mino Y, Takayama T, Ozono S, Kawakami J\*. : Impact of CYP3A5 genetic polymorphism on cross-reactivity in tacrolimus chemiluminescent immunoassay in kidney transplant recipients. Clin Chim Acta 414:120-4, 2012.
6. Kanie S\*, Otsuka A, Yoshikawa S, Morimoto T, Hareyama N, Okazaki S, Kobayashi R, Hasebe K, Nakao K, Hayashi R, Mochizuki H, Matsumoto R, Ozono S. Pharmacological effect of TRK-380, a novel selective human  $\beta$ 3-adrenoceptor agonist, on mammalian detrusor strips. Urology 79:744.e1-7, 2012.

7. Park KH, Sawada T\*, Murakami T, Ishii Y, Yasuo M, Fuchinoue S, Goldenberg DM, Kubota K.: Anti-class II -DR humanized monoclonal antibody, IMMU-114, blocks allogeneic immune response. Am J Surg. 204:527-34, 2012 .
8. Park KH, Sawada T\*, Murakami T, Ishii Y, Yasuo M, Urakawa M, Aoyagi Y, Fuchinoue S, Kubota K. : Anti-human leukocyte antigen-DR (MHC class II) humanized monoclonal antibody, IMMU-114, suppresses human to bovine cellular responses. J Surg Res 178:472-7, 2012.
9. Hinotsu S, Kawai K, Ozono S, Tsushima T, Tokuda N, Nomata K, Naito S, Akaza H\*. : Randomized controlled study of natural interferon  $\alpha$  as adjuvant treatment for stage II or III renal cell carcinoma. Int J Clin Oncol 18:68-74, 2013.

インパクトファクターの小計 [ 22.22 ]

## (2) 論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
  1. 永田仁夫, 野畑俊介, 鈴木孝尚, 甲斐文丈, 杉山貴之, 大塚篤史, 高山達也, 石井保夫, 古瀬洋, 麦谷荘一, 大園誠一郎 : 前立腺生検に対する年齢別の PSAD の検討. 腎泌尿防医誌 20:92-93, 2012.
  2. 大園誠一郎 : 第 18 回日本排尿機能学会 ランチョンセミナー1 : BPH 治療のパラダイム・シフト -5 $\alpha$ 還元酵素阻害薬の登場で、BPH 治療がどう変わるか? -; EBM の観点から、今後の BPH 治療を再考する -新たな「前立腺肥大症診療ガイドライン」より-. 泌外 25:705-711, 2012.
  3. 高山達也, 杉山貴之, 甲斐文丈, 麦谷荘一, 大園誠一郎 : T1a 腎癌における再発危険因子. 腎癌研究会会報 42:106, 2012.
  4. 大園誠一郎 : 前立腺癌薬物療法研究会 発足記念シンポジウム記録「新展開を迎えた前立腺癌治療薬の位置づけ」 Future ADT ; 1.LHRH アンタゴニスト. 泌外 25:1532-1533, 2012.
  5. 大園誠一郎 : 教育講座 4-1-1:どこが変わった癌取扱い規約「腎癌取扱い規約」(第 4 版) 改訂のポイントと問題点. 2012 年日本泌尿器科学会総会最新レポート:7-8, 2012.
  6. 大園誠一郎 : イムノブラダー発売 15 周年記念講演会記録集 : BCG 膀胱療法 of 15 年間の成果と将来展望. 本邦における BCG 膀胱療法のエビデンス. 泌外 25:2350-2351, 2012.
  7. 大園誠一郎, 赤座英之, 樋之津史郎, 内藤誠二 : TKI(ソラフェニブ・スニチブ) の全例調査-日本人の進行腎がんに対するエビデンスの創出-. 腫瘍内科 11:131-135, 2013.
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
  1. 麦谷荘一, 古瀬洋, 田村啓多, 加藤大貴, 鈴木孝尚, 甲斐文丈, 杉山貴之, 永田仁夫, 大塚篤史, 高山達也, 石井保夫, 大園誠一郎 : 第 4 回 BCG 注入療法研究会記録 一般演題 臨床 2 : 2nd TUR 導入後の High grade T1 膀胱療法 of 15 年間の成果と将来展望. 泌外 25:777-778, 2012.
  2. 麦谷荘一, 永田仁夫, 大園誠一郎 : 特発性腎出血の診断名は適切か? 日腎会誌 54:308, 2012.
  3. 島田安博, 森 和彦, 大園誠一郎, 高橋洋一郎, 他 : 第 13 回抗悪性腫瘍薬開発フォーラム「Revisiting JPN-全例調査」-総合討論-. 腫瘍内科 11:136-144, 2013.
  4. 宮崎 淳, 小野澤瑞樹, 高岡栄一郎, 河合弘二, 石塚直樹, 樋之津史郎, 大園誠一郎, 内藤誠

二, 赤座英之, 西山博之 : 第 5 回 BCG 注入療法研究会記録 ; 筋層非浸潤性膀胱がん患者における BCG 維持療法の忍容性と副作用との関連. 泌外 26:323-324, 2013.

5. 麦谷荘一, 古瀬 洋, 谷島崇史, 鈴木孝尚, 甲斐文丈, 杉山貴之, 永田仁夫, 大塚篤史, 高山達也, 石井保夫, 大園誠一郎 : 第 5 回 BCG 注入療法研究会記録 ; High grade 筋層非浸潤性膀胱癌に対する 2nd TUR 後 BCG 膀胱注療法の治療成績. 泌外 26:330-331, 2013.
6. 野畑俊介, 木内正太郎, 渡辺めぐみ, 臼田多佳夫, 森 厚嘉, 福田崇典, 杉山貴之, 永田仁夫, 高山達也, 古瀬 洋, 大園誠一郎 : 人間ドック受診者における泌尿器癌と喫煙との関係. 腎泌尿予防医誌 21:73-75, 2013.

### (3) 総 説

#### A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 大園誠一郎 : 泌尿器科の変遷-過去から未来へ- 4.膀胱癌 : 筋層非浸潤性膀胱癌の過去から未来へ. 泌尿器外科創刊 25 周年記念特別号-泌尿器科の変遷 (過去から未来へ) . 泌外 25(特別):478-480, 2012.
2. 大塚篤史, 大園誠一郎 : 特集 災害時の排泄対策 : これから期待されるエコトイレ(コンポストトイレなど). 排尿障害プラクティス 20:51-56, 2012.
3. 大園誠一郎 : Focus Interview ; 前立腺肥大症診療ガイドライン-各種ガイドラインとの比較と Clinical Questions(CQ)の概要-. LUTS プライマリケア 13:3-6, 2012.
4. 大園誠一郎 : GnRH アゴニストと GnRH アンタゴニストの違いについて. Prostate Cancer Front Line 1:8-11, 2012.
5. 高山達也, 永田仁夫, 大園誠一郎 : III有機酸・脂肪酸代謝異常 ; 原発性高シュウ酸尿症II型. 別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ No.19 先天代謝異常症候群 (第2版) 上 -病因・病態研究, 診断・治療の進歩- 19: 488-492, 2012.
6. 高山達也, 永田仁夫, 大園誠一郎 : III有機酸・脂肪酸代謝異常 ; 原発性高シュウ酸尿症III型. 別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ No.19 先天代謝異常症候群 (第3版) 上 -病因・病態研究, 診断・治療の進歩- 19:493-496, 2012.
7. 大園誠一郎 : 前立腺肥大症の治療 : 薬物療法. Modern Physician 32:1448-1454, 2012.
8. 大塚篤史, 鈴木孝尚, 大園誠一郎  $\beta$ 3 受容体刺激薬. Modern Physician 32:1493-1496, 2012.
9. 高山達也, 永田仁夫, 大園誠一郎 : X 1 ペルオキシソーム病 単独酵素欠損症 ; 原発性高シュウ酸尿症 I 型. 別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ No.20 先天代謝異常症候群(第2版) 下-病因・病態研究, 診断・治療の進歩- 20 : 450-453, 2012.
10. 大園誠一郎 : BPH 診療の未来像 : 新しい EBM の確立を求めて. 排尿障害プラクティス 20:37-42, 2012.
11. 大園誠一郎 : 各種排尿・性功能スコアの妥当性 第3回 ; 国際前立腺症状スコア (IPSS)・前立腺肥大症影響スコア (BII). 排尿障害プラクティス 20:55-62, 2012.
12. 大園誠一郎, 高山達也 : 特集 : 新しい分子標的治療薬による治療戦略 ; 腎癌に対する新しい分子標的薬 (AXIS trial). 癌と化学療法 40:26-29, 2013.
13. 大園誠一郎 : Current Organ Topics : Genitourinary Tumor 泌尿器系腫瘍 I .パラダイムシフトした腎癌薬物療法. 癌と化学療法 40:36-40, 2013.

14. 大園誠一郎 : 連載「前立腺癌」 デガレリクス(ゴナックス®). 排尿障害プラクティス 21:59-65, 2013.

15. 大園誠一郎 : 高リスク筋層非浸潤性膀胱癌に対する BCG 維持注入療法について. 医療情報サービス Minds(マインズ) <http://minds.jcqh.or.jp/n/med/9/med0076/T0010715>, 2013.

#### (4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 大園誠一郎, 鈴木啓悦, 並木幹夫, 鳥居 徹, 西村和郎, 井川 掌, 古瀬 洋, 高山達也 : 9. ホルモン療法. 日本泌尿器科学会(編). 前立腺癌診療ガイドライン 2012 年版. 金原出版(株), 東京, pp171-191, 2012.
2. 大園誠一郎 : 各論 第 7 章 泌尿器・腎疾患 : 1 下部尿路障害. 大橋京一, 藤村昭夫, 渡邊裕司 (編). 疾患からみた臨床薬理学 第 3 版. (株)じほう, 東京, pp421-439, 2012.
3. 大園誠一郎, 篠原信雄 : 第 II 部 泌尿器科腫瘍. がん治療認定医教育セミナー テキスト第 6 版. 日本がん治療認定医機構教育委員会, 東京, pp161-167, 2012.
4. 大園誠一郎 : 腎臓・泌尿器系 前立腺肥大症・排尿障害治療薬. 治療薬ハンドブック 2013 薬剤選択と処方のポイント. (株)じほう, 東京, pp738-746, 2013.
5. 大園誠一郎 : 腎・泌尿器疾患「膀胱腫瘍 (膀胱がん) bladder tumor (bladder cancer)」。今日の治療と看護 -改訂第 3 版-. (株)南江堂, 東京, pp642-643, 2013.

#### (5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 鈴木孝尚, 新保 斉, 栗田 豊, 麦谷荘一, 大園誠一郎 : 腹膜透析から血液透析へ移行後に上腸間膜動脈症候群(SMA 症候群)を生じた 1 例. 透析会誌 45:427-431, 2012.
2. 甲斐文丈, 石井保夫, 永田仁夫, 田村啓多, 加藤大貴, 鈴木孝尚, 杉山貴之, 大塚篤史, 高山達也, 古瀬 洋, 麦谷荘一, 大園誠一郎, 杉本 健 : 献腎移植後サイトメガロウィルス十二指腸潰瘍の 1 例. 第 45 回日本臨牀腎移植学会記録集 腎移植症例集 2012:72-75, 2012.
3. 鈴木孝尚, 大塚篤史, 杉山貴之, 加藤大貴, 田村啓多, 甲斐文丈, 永田仁夫, 高山達也, 石井保夫, 古瀬 洋, 麦谷荘一, 大園誠一郎 : 精巣上体 adenomatoid tumor の 2 例. 泌外 25:2197-2200, 2012.
4. 甲斐文丈, 水野卓爾, 高山達也, 松本力哉 : 膀胱異物 (ビニルチューブ) の 1 例. 磐田市立総合病院誌 14:14-16, 2013.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

1. 田村啓多, 高山達也, 杉山貴之, 石井保夫, 大園誠一郎 : Case Report: 下大静脈腫瘍栓を伴った腎癌術後、非感染性 DIC が疑われる症例に対し、トロンボモジュリン製剤が著効した一例. Thrombosis Medicine 2:88-91, 2012.
2. 窪田成寿, 上仁数義, 吉田哲也, 岡田裕作, 高山達也, 久原とみ子 : 難治性の尿路結石を呈した原発性高尿酸血症 2 型の 1 例. 日尿結石誌 10 : 78-82, 2012.
3. Ito T, Kurita Y, Shinbo H, Otsuka A, Furuse H, Mugiya S, Ushiyama T, Ozono S, Oki Y, Suzuki K. : Successful treatment for adrenocorticotrophic hormone-independent macronodular adrenal hyperplasia with laparoscopic adrenalectomy: a case series. J Med Case Rep 6: 312, 2012.

4. Tearada H, Nagata M, Mugiya S, Ozono S.: High-grade myxofibrosarcoma presenting at the spermatic cord after radiotherapy for prostate cancer. BMJ case reports <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/23195821> , 2012.
5. 田村啓多, 古瀬 洋, 杉山貴之, 加藤大貴, 鈴木孝尚, 甲斐文丈, 永田仁夫, 大塚篤史, 高山達也, 石井保夫, 麦谷荘一, 大園誠一郎 : 両側副腎出血を契機に発見された肺癌副腎転移の1例. 日泌尿会誌 104:17-21, 2013.

インパクトファクターの小計 [ 0.35 ]

#### 4 特許等の出願状況

	平成 24 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

#### 5 医学研究費取得状況

	平成 24 年度
(1) 文部科学省科学研究費	6 件 (500 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	3 件 (393 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	1 件 ( 38 万円)
(4) 財団助成金	0 件 ( 0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	11 件 (1,044 万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	29 件 (1,749 万円)

##### (1) 文部科学省科学研究費

1. 大園誠一郎 (代表者) 基盤研究 (C)、腎癌微少環境のエネルギー産生におけるFABP7の機能解明と発癌予防に向けた探索、平成23年度～平成25年度、平成24年度：120万円 (継続)
2. 大塚 篤史 (代表者) 基盤研究 (C)：ヒト前立腺におけるβ3 - アドレナリン受容体の発現とその機能の解明、平成23年度～平成25年度、平成24年度：10万円 (継続)
3. 永田 仁夫 (代表者) 基盤研究(C)、高尿酸血症に対するアラニングリオキシル酸変換酵素・グリオキシル酸還元酵素の測定、平成22年度～平成24年度、平成24年度：50万円 (継続)
4. 杉山 貴之 (代表者) 若手研究(B)、尿路上皮癌におけるS100ファミリー蛋白発現の意義、平成23年度～平成24年度、平成24年度：130万円 (継続)
5. 高山達也 (代表者) 挑戦的萌芽研究、幹細胞を用いた障害精巢の賦活化の検討、平成24年度～平成26年度、平成24年度：80万円 (新規)
6. 甲斐文丈 (代表者) 若手研究 (B)、腎癌の診断治療における癌抑制遺伝子Dmp1発現の意義、平成24年度～平成25年度、平成24年度：110万円 (新規)

##### (2) 厚生労働科学研究費

1. 大園誠一郎 (分担者) がん臨床研究事業、High grade T1 膀胱癌の second TUR 後 T0 患者に対

する BCG 膀胱内注入療法と無治療経過観察のランダム化第Ⅲ相試験、平成 22 年～平成 24 年度、平成 24 年度：13 万円（継続）、代表者：札幌医科大学医学部泌尿器科学教室 塚本泰司

2. 大園誠一郎（分担者）標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発、平成 24 年 10 月～平成 28 年度、平成 24 年度：40 万円（新規）、代表者：九州大学 ARO 次世代医療センター 中西洋一
3. 大園誠一郎（代表者）医療技術実用化総合研究事業（治験推進研究）、治験の実施に関する研究「5-アミノレブリン酸」、平成 23 年 9 月～平成 24 年度、平成 24 年度：340 万円（継続）

（3）他政府機関による研究助成

1. 大園誠一郎（分担者）文部科学省特別経費、光技術を活用した『がん』克服への新たなアプローチによる健康長寿社会の実現「3-5. 光を利用した泌尿器・尿路がんの診断と治療の研究」、平成23年度～平成27年度、平成24年度：38万円（継続）、代表者：浜松医科大学メディカルフォトリクス研究センター 簗島伸生

（5）受託研究または共同研究

1. 受託研究 企業(新規), 50 万円, ADJUVANT AXITINIB TREATMENT OF RENAL CANCER: A RANDOMIZED DOUBLE-BLIND PHASE 3 STUDY OF ADJUVANT AXITINIB VS. PLACEBO IN SUBJECTS AT HIGH RISK OF RECURRENT RCC アキシチニブによる腎癌の術後補助療法：腎細胞癌の再発リスクが高い患者を対象としたアキシチニブによる術後補助療法の第Ⅲ相プラセボ対照無作為化二重盲検比較試験, 高山達也
2. 受託研究 企業(新規), 175 万円, A Study in Japan and Ex-Japan to Characterize the Pharmacokinetic and Pharmacodynamic Response to Orteronel (TAK-700) in Chemotherapy-Naïve Patients With Castration-Resistant Prostate Cancer (日本及び海外における化学療法施行前の去勢抵抗性前立腺癌患者を対象とした orteronel (TAK-700) の薬物動態及び薬力学的反応の検討試験), 高山達也
3. 受託研究 企業(継続), 95 万円, A randomized, double-blind, placebo-controlled phase III study to evaluate the efficacy and safety of pazopanib as adjuvant therapy for subjects with localized or locally advanced RCC following nephrectomy (腎摘除術後の限局性または局所進行性腎細胞癌患者を対象に術後補助療法としてのパゾパニブの有効性および安全性を評価する無作為化、二重盲検、プラセボ対照、第Ⅲ相試験), 高山達也
4. 受託研究 企業(新規), 32 万円, バップフォー特定使用成績調査, 大塚篤史
5. 受託研究 企業(新規), 47 万円, ランマーク皮下注 120mg 長期使用に関する特定使用成績調査, 大園誠一郎
6. 受託研究 企業(新規), 21 万円, ベタニス錠 25mg・50mg 使用成績調査, 大園誠一郎
7. 受託研究 企業(新規), 6 万円, タコシール組織接着用シート使用成績調査, 大園誠一郎
8. 受託研究 企業(新規), 16 万円, バップフォー特定使用成績調査, 大塚篤史
9. 共同研究 企業(継続), 220 万円, ヒト膀胱標本を用いたアドレナリンβ3受容体作動薬の比較検討, 大塚篤史

10. 共同研究 企業(新規), 200 万円, ヒト腎癌細胞における pentraxin family 等の急性反応性蛋白発現と sorafenib の効果との関連性の検討, 大園誠一郎
11. 受託研究 文部科学省(新規), 182 万円, 平成 24 年度科学技術試験研究委託事業「早期診断マルチバイオマーカー開発」(メタボローム解析による血中・体液中代謝物バイオマーカーの開発における腎がん患者の組織、血清、膀胱がん患者の血清、尿の採取および診断), 高山達也

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	2 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	4 件
(3) 学会座長回数	2 件	11 件
(4) 学会開催回数	0 件	2 件
(5) 学会役員等回数	5 件	29 件
(6) 一般演題発表数	12 件	

### (1) 国際学会等開催・参加

#### 4) 国際学会・会議等での座長

大園誠一郎 : 32nd SIU Congress Podium Session 01, Oct 2012, Fukuoka.

大園誠一郎 : 15th International Congress on Hormonal Steroids and Hormones & Cancer (15<sup>th</sup> ICHSHC) Symposium 7, Nov 2012, Ishikawa.

#### 5) 一般発表

##### 口頭発表

1. Takayama T, Sugiyama T, Kai F, Nagata M, Yajima T, Suzuki T, Otsuka A, Ishii Y, Furuse H, Mugiya M, Ozono S. : Neoadjuvant and presurgical therapy of renal cell carcinoma in a university hospital in Japan. 29th Japan-Korea Urological Congress, Sep 2012, Kagoshima, Japan.

##### ポスター発表

1. Takayama T, Takaoka N, Nagata M, Johnin K, Okada Y, Kuhara T, Rumsby G, Cramer SD, Ozono S. : Ethnic differences in GRHPR gene mutation in primary hyperoxaluria type 2. 10th International primary hyperoxaluria workshop, June 2012, Bonn, Germany.
2. Nagata M, Ichiyama A, Takayama T, Mugiya S, Ozono S : PH1 can be also diagnosed by measuring SGT activity. 10th International primary hyperoxaluria workshop, June 2012, Bonn, Germany.
3. Takayama T. : Quantitative Metabolome Profiling of Testicular Cancer Microenvironment by Capillary Electrophoresis Time-of-Flight Mass Spectrometry. 10th international conference of ACOS, June 2012, Seoul, Korea.
4. Kai F, Mugiya S, Nagata M, Tamura K, Kato T, Suzuki T, Sugiyama T, Otsuka A, Takayama T, Ishii Y, Furuse H, Ozono S. : Ureteroscopic diagnosis for upper urinary tract diseases by digital flexible video



- uretero-roscope with Narrow Band Imaging (NBI). 30th World Congress of Endourology and ESWL (WCE), Sep 2012, Istanbul, Turkey.
5. Furuse H, Suzuki T, Kai F, Sugiyama T, Nagata M, Otsuka A, Takayama T, Ishii Y, Mugiya S, Ozono S. : Significance of Systematic Regional Lymphnode Dissection during Total Nephroureterectomy. 32nd Congress of the Société Internationale d'Urologie(SIU), Oct 2012, Fukuoka, Japan.
  6. Ishii Y, Takehara Y, Ngata M, Sugiyama T, Otsuka A, Takayama T, Furuse H, Mugiya S, Wakayama T, Johanson K, Wieben O, Ozono S. : The Usefulness of Time-Resolved Three-Dimensional Phase-Contrast MRI Using PC-VIPR in Renal Transplantation. 32nd Congress of the Société Internationale d'Urologie(SIU), Oct 2012, Fukuoka, Japan.
  7. Otsuka A, Kawasaki H, Matsumoto R, Shinbo H, Kurita Y, Iwashita T, Ozono S. : Semiquantitative Analysis of  $\beta$ -Adrenoceptor Subtypes Expression Among Urothelium, Interstitial Cells and Detrusor Muscles in the Human Urinary Bladder. 32nd Congress of the Société Internationale d'Urologie(SIU), Oct 2012, Fukuoka, Japan.
  8. Sugiyama T, Takayama T, Miyazaki M, Furuse H, Mugiya S, Ozono S. : Evaluation of the Expression of S-100A2 mRNA in Human Bladder Cancer. 32nd Congress of the Société Internationale d'Urologie(SIU), Oct 2012, Fukuoka, Japan.
  9. Takayama T, Zaima N, Takaoka N, Miyazaki M, Tan C, Sugiyama T, Furuse H, Mugiya S, Setou M, Ozono S. : Docosahexaenoic Acid Inhibits Cell Growth of Renal Cell Carcinoma. 32nd Congress of the Société Internationale d'Urologie(SIU), Oct 2012, Fukuoka, Japan.
  10. Takayama T, Furuse H, Igawa T, Namiki M, Nishimura K, Shimazui T, Suzuki H, Hirao Y, Ozono S. : Endocrine therapy for prostate cancer by evidence-based clinical practice guidelines 2012. 15th International Congress on Hormonal Steroids and Hormones & Cancer, Nov 2012, Kanazawa, Japan.
  11. Suzuki T, Otsuka A, Kurita Y, Shinbo H, Matsumoto R, Takada S, Ozono S. : The combination of values obtained by transrectal ultrasonography is useful for predicting bladder outlet obstruction in patients with lower urinary tract symptoms suggestive of benign prostatic hyperplasia. 28th annual EAU congress 2013, March 2013, Milan, Italy.

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

1. 第29回浜松カンファレンス開催・2012.07. 浜松市.
2. 日本尿路結石症学会第22回学術集会開催(会長)・2012.08. 浜松市.

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 大園誠一郎：教育講座 4-1/どこが変わった腎癌取扱い規約：「腎癌取扱い規約」(第4版)一  
改訂のポイントと問題点. 第100回日本泌尿器科学会総会. 2012.04. 横浜市.
2. 高山 達也：転移性腎細胞癌薬物治療の最前線. 第100回日本泌尿器科学会総会, 2012.04. 横  
浜市.

### 3) シンポジウム発表

1. 大園誠一郎:シンポジウム4. 泌尿器がん治療の過去と未来：筋層非浸潤性膀胱癌の治療. 第  
50回日本癌治療学会学術集会. 2012.10. 横浜市
2. 高山 達也：前立腺肥大症治療における薬剤経済評価. 第62回日本泌尿器科学会中部総会,  
2012.11.富山市.
3. 高山 達也：尿路結石形成における蔞酸代謝関連酵素の最新の知見. 第100回日本泌尿器科  
学会総会, 2012.04. 横浜市.
4. 古瀬 洋：2nd, 3rd TUR に関する話題提供. 第7回静岡尿路悪性腫瘍シンポジウム. 2013年  
3月. 静岡市.

### 4) 座長をした学会名

大園誠一郎：第100回日本泌尿器科学会総会 シンポジウム 3-2、2012年4月、横浜市.

大園誠一郎：第19回日本排尿機能学会 教育セミナー1、2012年8月、名古屋.

大園誠一郎：第71回日本癌学会学術総会 ランチョンセミナー6、2012年9月、札幌市.

大園誠一郎：日本性機能学会 第23回学術総会 特別講演1、2012年9月、東京.

大園誠一郎：第42回日本腎臓学会東部学術大会 一般演題「泌尿器疾患」、2012年10月新潟市.

大園誠一郎：第50回癌治療学会学術集会 ポスターディスカッション26、2012年10月、横浜市.

大園誠一郎：第26回日本泌尿器内視鏡学会総会 教育講演-Message to Young Endourologist 2- 2012  
年11月、仙台市.

大園誠一郎：第62回日本泌尿器科学会中部総会 サテライト・シンポジウム、2012年11月、富  
山市.

古瀬 洋：第100回日本泌尿器科学会総会 一般演題「手術04」、2012年4月、横浜市.

高山 達也：日本尿路結石症学会第22回学術集会 一般演題「基礎I」、2012年8月、浜松市.

大塚 篤史：第19回日本排尿機能学会学術集会 一般演題、2012年8月、名古屋市.

### (3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

大園誠一郎：日本泌尿器科学会評議員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会学術委員会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会倫理委員会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会専門医制度審議会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会・膀胱癌診療ガイドライン改訂委員会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会・前立腺癌診療ガイドライン作成委員会委員・「ホルモン療法」班長

大園誠一郎：日本泌尿器科学中部連合地方会運営委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学東海地方会運営委員

大園誠一郎：日本排尿機能学会理事

大園誠一郎：日本癌治療学会理事・関連学会連絡委員会委員長

大園誠一郎：日本癌治療学会・がん診療ガイドライン委員会尿路上皮がん・腎がん部門協力委員  
 大園誠一郎：日本泌尿器内視鏡学会評議員  
 大園誠一郎：日本老年泌尿器科学会評議員  
 大園誠一郎：日本透析医学会評議員  
 大園誠一郎：日本腎臓学会学術評議員  
 大園誠一郎：日本内分泌外科学会評議員  
 大園誠一郎：日本アンドロロジー学会評議員  
 大園誠一郎：日本女性骨盤底医学会理事  
 大園誠一郎：日本 Men' s Health 医学会評議員  
 大園誠一郎：腎癌研究会世話人・将来計画委員会委員長  
 大園誠一郎：日本腎泌尿器疾患予防医学研究会世話人  
 大園誠一郎：BCG 注入療法研究会世話人代表  
 大園誠一郎：Japan Clinical Oncology Group (JCOG) 泌尿器科腫瘍グループ・グループ代表委員  
 大園誠一郎：Japan Clinical Oncology Group (JCOG) 泌尿器科腫瘍グループ・UC-SWG 班長  
 大園誠一郎：American Urological Association(AUA) International Member  
 大園誠一郎：American Society of Clinical Oncology(ASCO) Member  
 大園誠一郎：NCCN Asia Consensus Statement Panel Member  
 大園誠一郎：Société Internationale d'Urologie(SIU) Member  
 大園誠一郎：International Continence Society(ICS) Member  
 石井 保夫：腎移植血管外科研究会世話人  
 高山 達也：日本腎臓学会学術評議員  
 高山 達也：泌尿器科分子・細胞研究会評議員  
 高山 達也：日本泌尿器科学会東海地方会運営委員  
 高山 達也：東海泌尿器病理研究会幹事

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	2件	2件

### (1) 国内の英文雑誌の編集

1. 大園誠一郎:Japanese Journal of Clinical Oncology, Associate editor, PubMed/Medline 登録有, インパクトファクター有
2. 高山 達也:International Cancer Conference Journal, Editorial Board, PubMed/Medline 登録有, インパクトファクター無

### (2) 外国の学術雑誌の編集

1. 大園誠一郎：IBIMA publishing, Editorial Board, PubMed/Medline 登録無, インパクトファクター無
2. 高山達也：the International Scholarly Research Network (ISRN) Urology, Editorial Board, PubMed/Medline 登録無, インパクトファクター無

### (3) 国内外の英文雑誌のレフリー

大園誠一郎：Japanese Journal of Clinical Oncology 23回 (Japan)  
 大園誠一郎：Current Drug Targets 1回 (Netherlands)  
 大園誠一郎：IBIMA 1回 (USA)  
 大園誠一郎：International Journal of Clinical Oncology 2回 (Japan)  
 大園誠一郎：Clinical and Experimental Nephrology 1回 (Japan)  
 大園誠一郎：International Journal of Urology 1回 (Australia)  
 古瀬 洋：International Journal of Urology 2回 (Japan)  
 古瀬 洋：BMC Cancer 1回 (UK)  
 古瀬 洋：Cancer Medicine 1回 (USA)  
 高山達也：Cancer Science 1回 (Japan)  
 高山達也：Clinical Experimental Metastasis 1回 (Netherlands)  
 高山達也：Clinical experimental nephrology 1回 (Japan)  
 高山達也：International Cancer Conference Journal 1回 (Japan)  
 高山達也：International Journal of Urology 1回 (Japan)  
 高山達也：Transplantation Research 1回 (UK)  
 高山達也：Urological Research 1回 (Germany)  
 大塚篤史：International Journal of Urology 1回 (Japan)  
 大塚篤史：Pharmacology 1回 (Switzerland)

## 9 共同研究の実施状況

	平成 24 年度
(1) 国際共同研究	1 件
(2) 国内共同研究	9 件
(3) 学内共同研究	1 件

### (1) 国際共同研究

1. 早期前立腺がんに対する PSA 監視療法：国際共同比較研究 (PRIAS-JAPAN)，日本 (香川大学 笥 善行)・欧州 8 カ国，平成 22 年 1 月 1 日～26 年 12 月 31 日

### (2) 国内共同研究

1. High grade T1 膀胱癌の second TUR 後 T0 患者に対する BCG 膀胱内注入療法と無治療経過観察のランダム化第Ⅲ相試験 (JCOG1019)、Japan Clinical Oncology Group(JCOG)泌尿器科腫瘍研究グループ、平成 22 年 4 月～ (登録期間：5 年間・追跡期間：登録終了後 5 年間)
2. T1a RCC の予後因子解析、小径(4cm 以下) 腎癌の予後規定因子に関する検討、腎癌研究会 (大阪大学)、平成 22 年 12 月 1 日～平成 25 年 11 月 30 日
3. 乳頭状腎癌および嫌色素性腎細胞癌の有転移例に対する薬物治療の効果、腎癌研究会 (防衛医科大学校)、平成 22 年 12 月 1 日～平成 25 年 11 月 30 日
4. 分子標的薬の治療効果の組織学的判定基準を確立を目的とした多施設共同研究、腎癌研究会 (慶応大学)、平成 24 年 11 月～平成 27 年 10 月
5. テムシロリムス(TEM)の有効性や間質性肺疾患 (ILD) 等の副作用 (AE) の発症に関連する免

疫反応を明らかにすることを目的とした多施設共同研究、J-TORIM（熊本大学）、平成 25 年 1 月～平成 28 年 12 月

6. 腎細胞患者を対象とした天然型インターフェロン $\alpha$ ＋ソラフェニブ併用療法の有効性および安全性の検討を目的とした多施設共同研究第 II 相試験、JRCTG 研究会、平成 21 年 8 月～
  7. 根治切除不能または転移性の腎細胞癌患者に対する 1st line TKI 療法不応後のエベロリムスの有効性および安全性の検討、J-ACTOR、平成 23 年 4 月～平成 27 年 3 月
  8. 前立腺癌患者における背景因子、初期治療に関する実態調査（初回治療調査）、J-cap 研究会、平成 23 年 10 月～
  9. 根治手術が実施された上部尿路癌におけるリンパ節郭清術の意義と術後の膀胱再発に関する調査研究、Japan Clinical Oncology Group(JCOG)泌尿器科腫瘍研究グループ、～2015 年 1 月
- (3) 学内共同研究
1. 生活習慣と泌尿器科疾患の遺伝環境表現型相関、病理学第一、平成 21 年 6 月～26 年 5 月

## 10 産学共同研究

	平成 24 年度
産学共同研究	1 件

1. 大塚篤史：企業、ヒト膀胱標本を用いたアドレナリン $\beta$ 3 受容体作動薬の比較検討、過活動膀胱治療薬の新規化合物の開発

## 11 受賞

(3) 国内での授賞

1. 高山達也：第 15 回日本尿路結石症学会奨励賞（臨床部門）、2012 年 8 月

## 15 新聞、雑誌等による報道

1. 石井 保夫：「脳死女性の臓器摘出 浜松 県内外 3 病院へ搬送」静岡新聞、8 月 11 日
2. 大園誠一郎：腎がん：腎癌研究会第 5 回市民公開講座より「もっと腎がんのことを知って欲しい」がんナビ、日経メディカルオンライン  
<http://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/cancernavi/jingan/report/201209/526711.html>、2012 年
3. 大園誠一郎：「泌尿器の無病息災を目指して 浜松医科大学公開講 2012 無病息災を目指す健康管理」SBS ラジオ、2013 年 2 月 10 日
4. 大園誠一郎：「泌尿器の無病息災を目指して 浜松医科大学公開講 2012 無病息災を目指す健康管理」静岡新聞、2013 年 2 月 10 日
5. 大園誠一郎：「はままつ健康フォーラム市民公開講座 第 5 回 -前立腺がんの早期発見に向け-」中日新聞、2013 年 2 月 20 日